

片桐英數塾通信

知識が自分の体の一部となった時、  
何か新しいものが見えてくる。

断言できます。いかに進むかよりもいかに集中するかが大切です。

かと言って、なかなか成績が伸びてこないと焦るものです。「やってるのに伸びない」。このような悩みを持つ人は多いと思います。原因は様々だと思いますが、よくあるケースを書かせて頂きますと、確かに今、やってるのかもしれないですが、まだ伸び始める時期にきていないだけということがよくあります。

伸び始めるにはそれに必要な条件を満たさなければなりませんと考えています。まず、必要とされるだけの知識は備わっているのか。知識もなく問題と向き合っても、問題にとらめっこをするばかりで動くことすらできません。

その次に、入れた知識が正確に出せるようにならないければなりません。覚えたものを出すだけなんて簡単じゃないかと思うかもしれませんが、実はこれは割と難しいと思います。それにAという知識をインプットし、Aという形そのままにアウトプットできれば良しとする問題なんて、模試や入試問題にはほぼありません。入れた知識を元に、問われたものにアレンジして出力できなければ試験では正解できません。


せん。この力をつけるには、数多くの問題を根気強く解いていくことが必要となります。簡単に身に付く力ではありません。

ある程度の知識を入れたとしても、それを正確に出力できるだけの練習が足りていないのが、この時期の現役生によく見られることです。だから、一つ一つの問題に集中しながら、丁寧に自分のものにしていく中で焦らずコツコツ力を付けていって欲しいと思います。根気よく続けていると必ず成績は上昇します。

知識を入れて出せるようになることは、成績を伸ばす入り口に位置するものだと思います。しかし、志望校へ合格することまでを考えると、実はそこで止まってしまっただけだと思ってしまう。大事なのは何かと私なりに考えてみますと、出題者や筆者の意向が何かと考えることだと思っています。知識が備わり、その知識の使い方が分かると、その知識が体につけると、その知識が体に吸収され、体の一部となり、今まで見えてなかった様々なものが見えてくるようになります。いろんなものが知識を通じて見えるようになってくると、出題者や筆者の考

えが少しわかり始めてきます。こうなってくると受験勉強も無機質なものから、徐々に徐々に有機的なものへと変わってきて、随分と楽しくなってきます。こうなると成績は激しく上昇します。

これは私が卒業生で志望校に合格していった人たちのことを思い出しながら書くのですが、まず最初は、知識を得たことに喜びます。知識を得るというのは、人にとつてみな共通して嬉しいものなのでしよう。知識を得て嬉しくなり、その知識を自慢する人もいたりしました。そしてそれから、模試などの応用・発展的な問題に接し、自分がいかに覚えた知識を正確に出力できたか、それが模試の結果にうまく反映できたかに気は向かいます。そして、模試の結果は結果として気にはするけど、それ以上に、その問題で問われた出題者、筆者の意向についての自分の意見を、ボソボソとではありますが、口にできるようになってき



するように思います。その大変な受験に向かうと精神的にも肉体的にも随分と辛くなるものです。辛くなると楽になりたいと人は考えます。そうやって考えているうちに、勉強が受験のためだけのものになってきてしまっています。受験勉強などと呼ばれているのだから、それも仕方ないと思うのですが。

ですが、出題者や筆者の意向までを考えられるまでになった人には何となく分かってもらえると思うのですが、受験で得られる知識というものは、実は受験のためだけのものではなく、実は生きていく上で、とても役に立ったり、自分の視野を広げてくれるとても大切なものばかりなのです。


今、受験のために学んでるものが、きっと将来のためになる、と考えて、一つ一つ丁寧に集中して自分のものにしていったほうがいいと思います。

# **バズル道場** **算数** **国語**

天神教室・坂本教室の11月のお休みは、  
1日(日)、8日(日)、15日(日)、22日(日)、23日(月)、29日(日)です。

ご遠慮いただきますよう、  
重ねてお願い申し上げます。

**QRコードからHPにアクセスすることができます。**



HP アドレス <http://www.katagiri-juku.com>  
 メールアドレス [katagiri-juku@docomo.ne.jp](mailto:katagiri-juku@docomo.ne.jp)

※面接にて決定致しますので、  
まずは坂本教室までご連絡ください。

**開講日：土曜日16時半～18時半（月4回）**